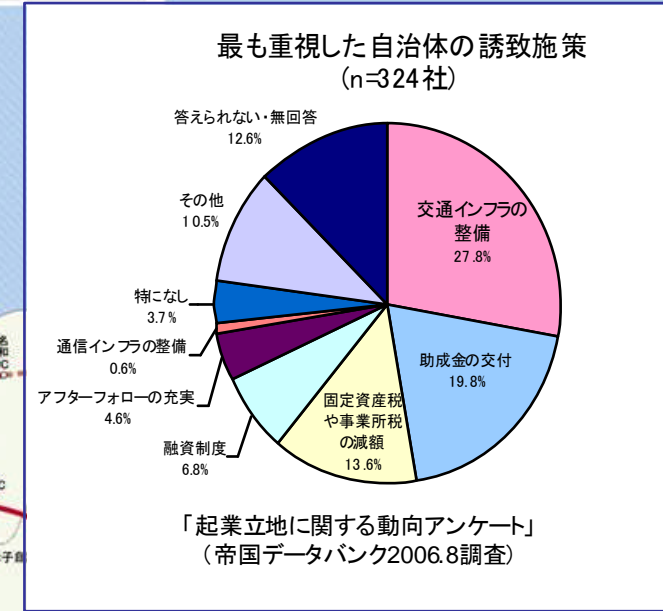


# 高速道路の整備は企業誘致のスタートライン

# 島根県

- ・ 誘致企業は高速道路沿線に多く立地
- ・ 多くの企業が交通インフラの整備を重要視
- ・ 県西部、中部への企業誘致のために  
**高速道路は必要不可欠な基礎的インフラ**



- 【誘致企業の意見・要望から】
- (出雲市進出企業)
    - ・ 尾道松江線の早期整備。せめて三次ジャンクションまでも。
  - (大田市進出企業)
    - ・ 陸路は国道9号に頼らざるを得ず災害時には輸送がストップ。国道9号以外の道路が必要。
  - ・ 海外への輸出は神戸港までトラック輸送。山陰道の早期整備を望む。
  - (江津市進出企業)
    - ・ 現在、自動車産業は九州に集約。西からのアクセスが悪すぎる。

島根県企業立地促進条例(平成4年度制定)に基づいて、認定を受けた176事業所を图示(H4~H20)

# 観光振興に高速道路の整備は不可欠

# 島根県

- ・東京発の観光ツアーとして組まれている山陰のコースの多くは島根県東部止まり
- ・東西移動に時間がかかりすぎるため、世界遺産石見銀山等がある県央部を周遊するツアーは組みづらい状況
- ・ツアーメニューの多様化、広域化を図って観光振興を進めるために、**高速道路は必要不可欠な基礎的インフラ**



**ツアーが組みづら**

**世界遺産  
石見銀山**  
**海浜公園  
アクアス**

**約4割のツアーが、  
出雲～鳥取周辺を周遊**

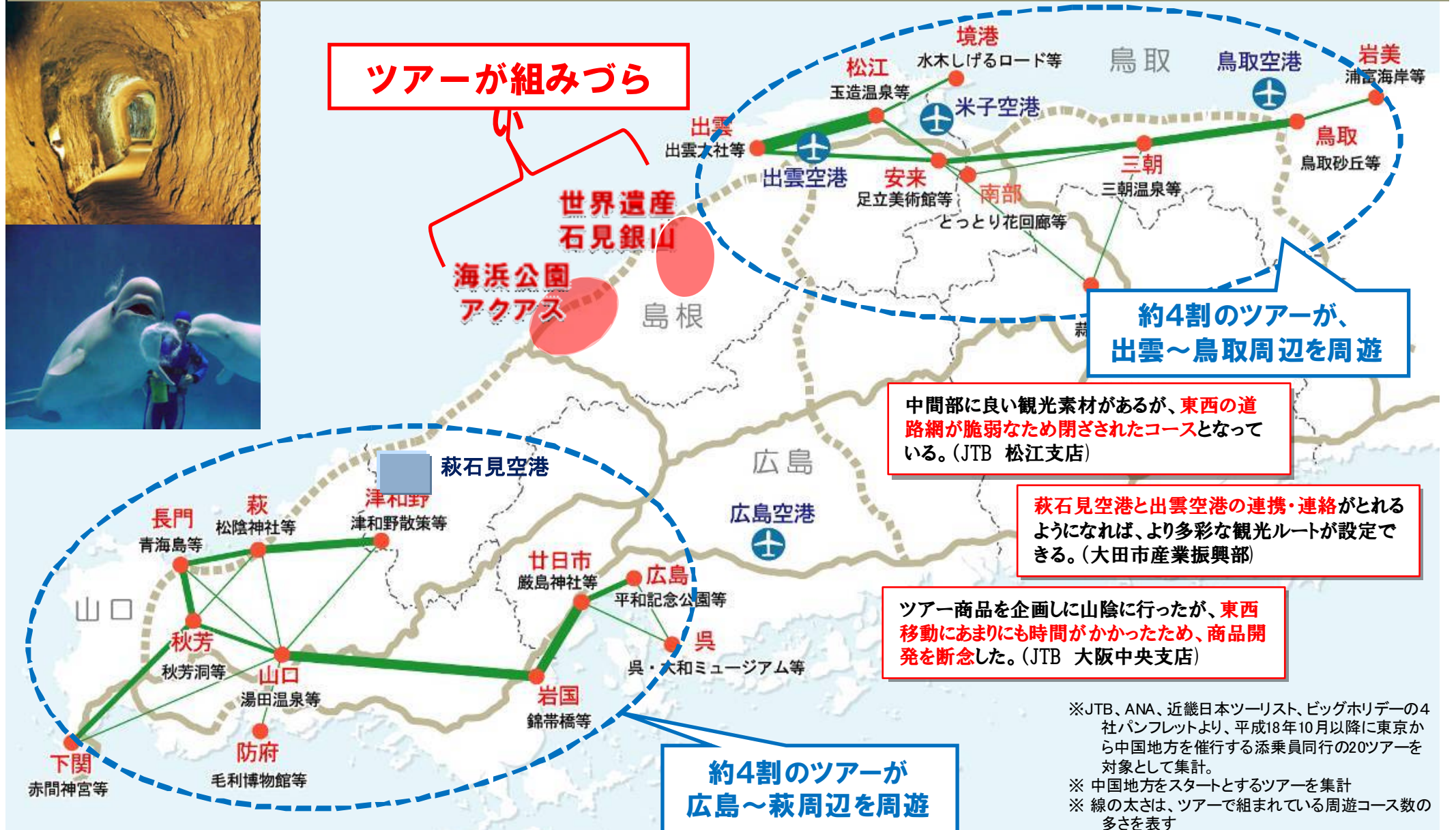
中間部に良い観光素材があるが、**東西の道路網が脆弱なため閉ざされたコース**となっている。(JTB 松江支店)

萩石見空港と出雲空港の**連携・連絡**がとれるようになれば、より多彩な観光ルートが設定できる。(大田市産業振興部)

ツアー商品を企画しに山陰に行ったが、**東西移動にあまりにも時間がかかったため、商品開発を断念**した。(JTB 大阪中央支店)

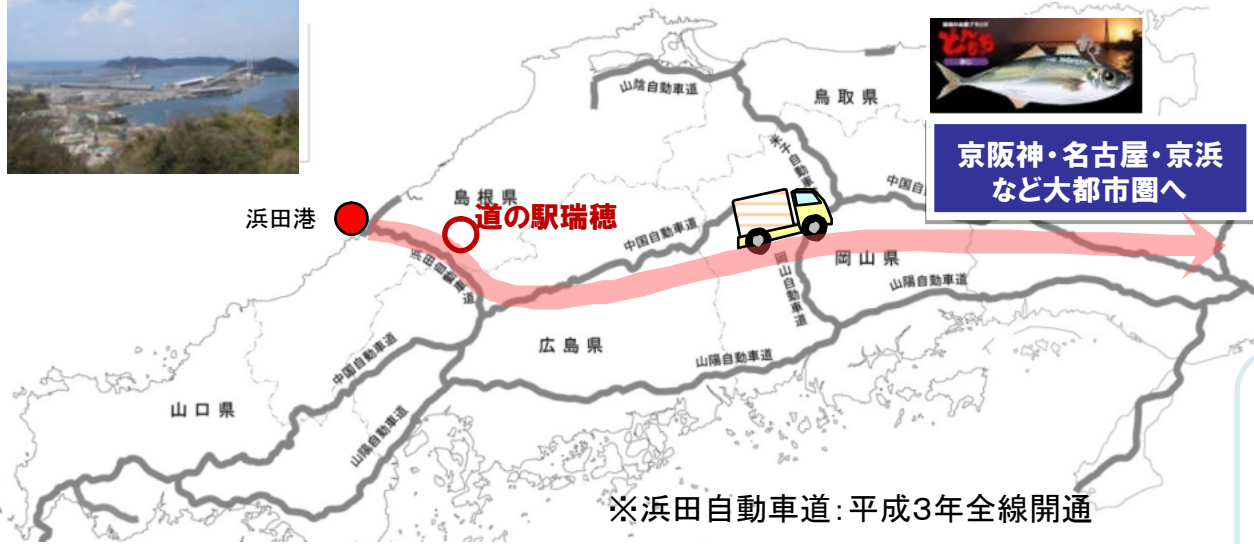
**約4割のツアーが  
広島～萩周辺を周遊**

※JTB、ANA、近畿日本ツーリスト、ビッグホリデーの4社パンフレットより、平成18年10月以降に東京から中国地方を主催する添乗員同行の20ツアーを対象として集計  
※中国地方をスタートとするツアーを集計  
※線の太さは、ツアーで組まれている周遊コース数の多さを表す





- ・浜田港で水揚げされた鮮魚は、浜田自動車道の整備により都市部の市場に短時間で輸送できるようになり、出荷量が大幅に増加
- ・邑南町の「道の駅瑞穂」は、浜田自動車道のインターからアクセスしやすく、新鮮な野菜等を求めて広島などから多数の買物客が来訪
- ・地域資源を活かした農林水産業の振興や中山間地域の活性化を図るために、**高速道路は必要不可欠な基礎的インフラ**

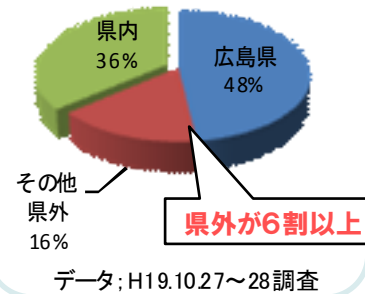


## 産直市みずほの状況



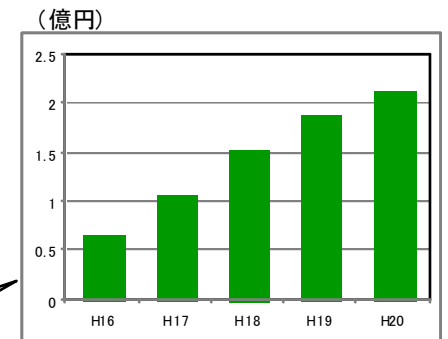
みずほstyleホームページより

## 産直市来訪者の出発地



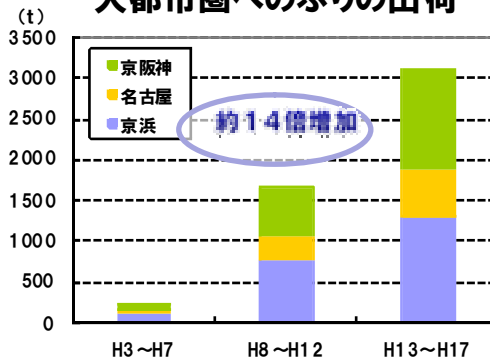
高速道路を活用した  
地域のがんばりで  
売上高は年々増加

## 産直市の売上高

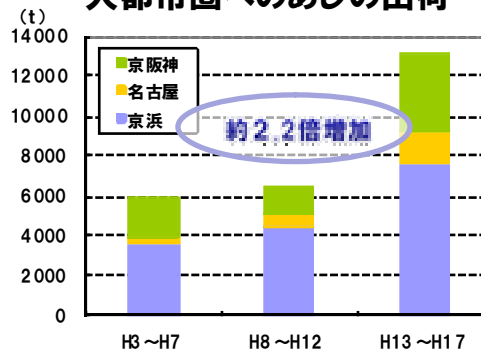


資料／産直市みずほ企業組合

## 大都市圏へのぶりの出荷



## 大都市圏へのあじの出荷



資料／水産物流通統計年報

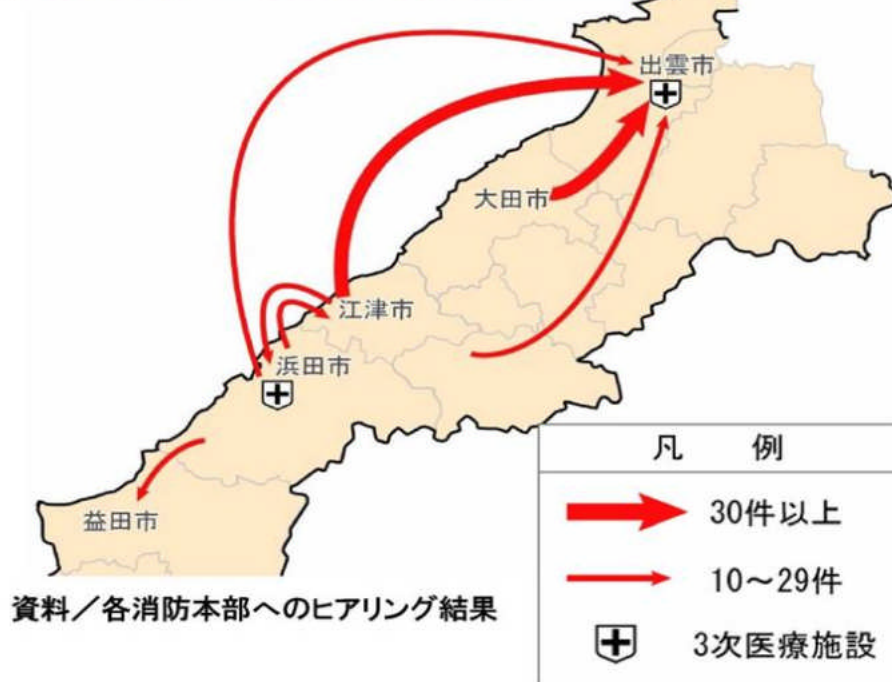
以前は、10時以降出荷する魚は、東京のセリに間に合わない  
ので、名古屋、大阪に出荷していましたが、浜田自動車道が出来てからは、市場単価の高い東京方面への出荷が容易となりました。(漁業協同組合JFLまね浜田支所)

広島から大口で購入しに来る人(料亭の方)もいる。  
ほとんどが大朝ICを利用。県外からの来客が多い  
のは高速道路の整備効果だと思われます。(産直市みずほ)

- ・県中西部では、高度医療機関のある出雲市や浜田市へ救急搬送するケースが多数
- ・県内の東西を結ぶ幹線道路は片側1車線の国道9号のみであり、事故、災害で通行止めとなれば、命にかかわる状況
- ・県民の命を守るために、**高速道路は必要不可欠な基礎的インフラ**

## 【救急搬送の状況】

石見地域から出雲市へ搬送  
大田市、江津市を中心に年200件以上



## 【災害の発生と搬送への影響】



石見地域の高度医療は出雲市の病院に依っています。現在国道9号には代替路線がなく、救急活動に支障が出て困っています。(江津邑智消防組合職員)

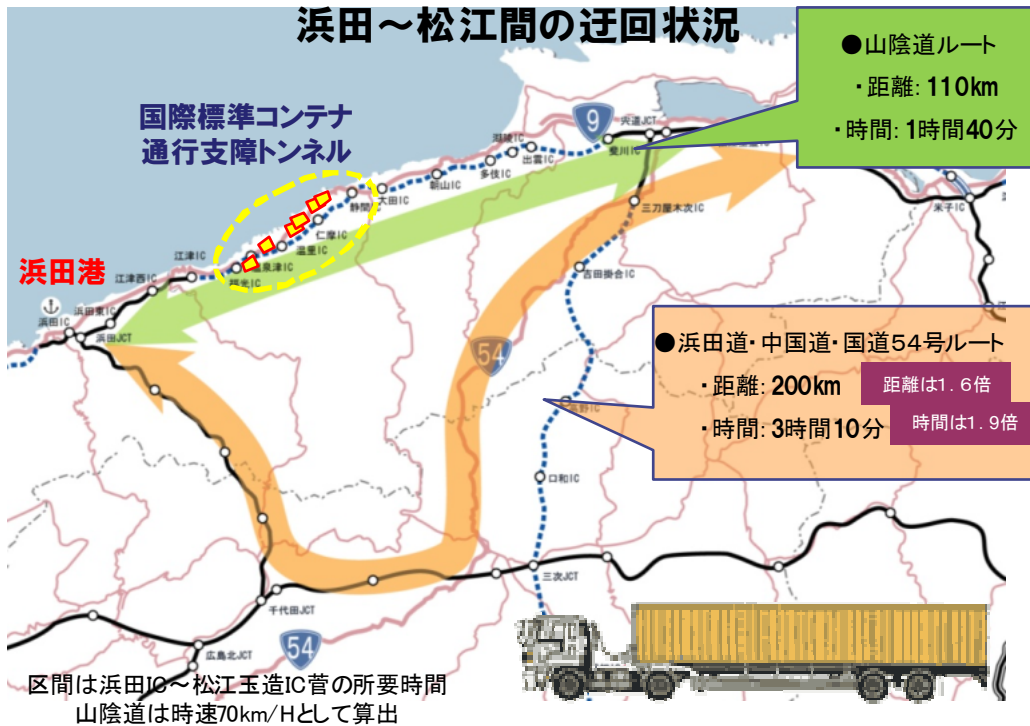
益田市から出雲市内の救急病院へ、大量出血の患者さん等を救急搬送する際に、天候に左右されない確実で安定的な交通手段が必要です。山陰道は、損得の便益で測りえない、生命尊厳の遵守に欠くことのできない「命の道」と言えます。(益田地域医療センター医師会病院 看護師)



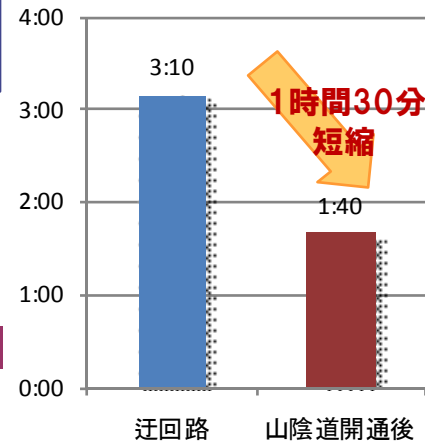
# 国際標準コンテナ通行支障区間を解消

# 島根県

- ・国道9号には、高さ不足による国際標準コンテナ(背高海上コンテナ)通行支障トンネルが6ヶ所も存在
- ・浜田港など日本海側の主要港湾を拠点として、拡大する東アジアとの経済交流を進めるために、**高速道路は必要不可欠な基礎的インフラ**

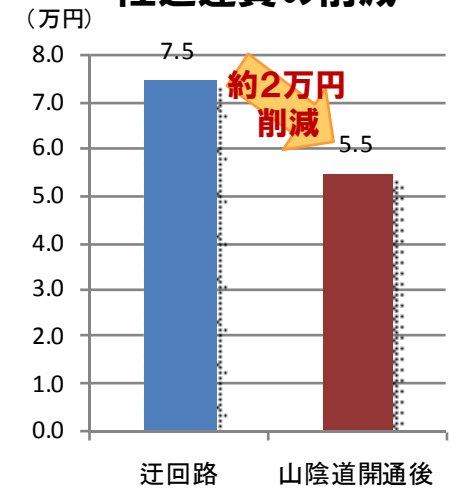


## 浜田～松江間の所要時間



所要時間は道路時刻表'07-'08をベース  
将来山陰道は時速70km/hで算出

## 陸送運賃の削減



浜田～出雲間で40ftコンテナ1台の標準的な陸送運賃(浜田港振興会問い合わせ)

国道9号の背高海上コンテナ通行支障トンネルの存在と、大田市の仙山峠は配送のネックとなっている。海外から年間100台以上の40ftコンテナを工場に入庫しているが、浜田港からの荷はコンテナ通行に支障がある国道9号を迂回して中国道経由となり、コストが上がるため、浜田港は利用していない。これらの問題が解消されるだけでも浜田港を利用する可能性はでてる。  
(出雲市内製造業)

世界的に背高海上コンテナが主流になりつつある状況で、今後、浜田港が中国地方や関西・四国などの貿易窓口としての役割を担っていくためには、**物流ルートの整備は重要**。  
(浜田港振興会)



宅野トンネル



大野トンネル

# 通行止めが頻発する国道9号の代替路線

# 島根県

- 平成18年7月の豪雨災害では、国道9号(出雲市多伎町内)通行止めに伴って、大幅な迂回を強いられ、日常生活や経済活動に多大な影響が発生(通行止め35時間の迂回・渋滞による経済損失額=推計約6千万円)
- 片側1車線の国道9号では、災害や事故により年間に何度も通行止めが発生
- 災害や事故等によるアクシデントから県民の生活を守るため、国道9号の代替路として、**高速道路は必要不可欠な基礎的インフラ**

## 平成18年7月豪雨災害時の通行規制状況

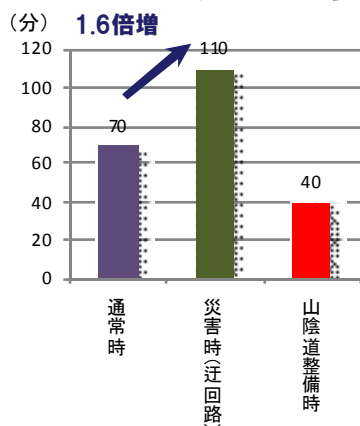


## H18.7豪雨災害による国道9号通行止めの影響

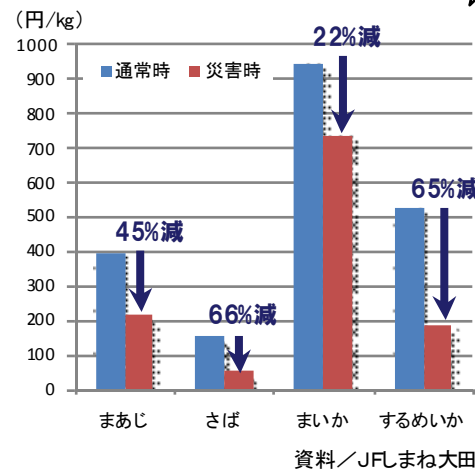
### 【経済活動への影響】

- 通行止めの間、**材料入荷・商品出荷が全て止まった**。(製造業・大田市)
- 商品の到着時間が大幅に遅れ、**せりの時間に間に合わなかったため**前日の商品で商売をした。(市場・出雲市)

## 大田～出雲間の所要時間



## 通行止め時の魚価



## 国道9号年間通行止め回数



# 慢性的な交通渋滞を緩和

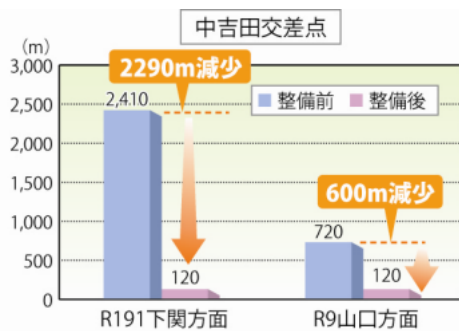
# 島根県

- 山陰道の益田道路が平成19年に一部開通し、益田市内の交通渋滞は大幅に緩和
- 県東部では山陰道の整備が進むにつれて国道9号の交通量が減り、交通事故が年々減少
- 渋滞を緩和して、安全・快適な地域づくりを進めるため、**高速道路は必要不可欠な基礎的インフラ**

## 益田道路開通により渋滞が緩和



## 中吉田交差点の渋滞状況



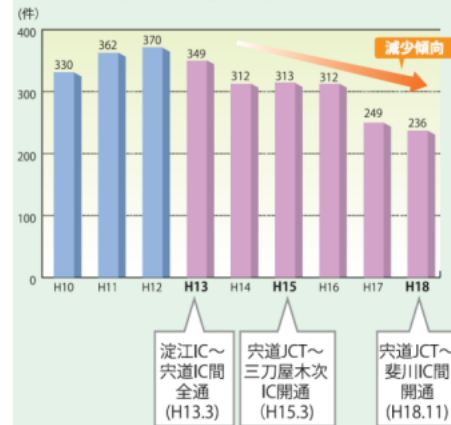
※山口方面に向かって撮影



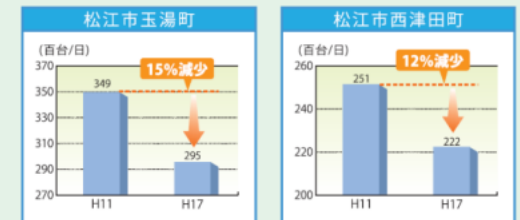
## 山陰道がつながって交通事故が減少

平成13年3月に山陰道が淀江IC～宍道ICまで開通して、国道9号の交通量が減少した結果、交通事故件数は減少に転じました。その後、ネットワークの延伸にともない、交通事故件数は引き続き減少傾向にあります。

### 安来市～松江市間の一般国道9号の死傷事故件数



### 一般国道9号の交通量の変化



資料：道路交通センサス



## 大田市内国道9号の渋滞状況



山陰道の未事業化区間にある大田市の国道9号は通勤時間帯や休日を中心に慢性的に渋滞しており、またそれらを起因とした交通事故が発生するなど、市民の日常生活や石見銀山観光に支障が出ている。**早急に山陰道を整備してほしい。**  
(石見銀山世界遺産センター職員)